

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
M314M102		解剖学実習 (Practice in Human Anatomy)					コース共通専門分野		対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
必修	1	1	医学部先進医療科学科	後期	月3,木2	日本語	英語	オムニバス								
担当教員	氏名 井上 亮、穴井博文、田仲和宏、兒玉雅明、手嶋泰之、友雅司、内田智久、加隈哲也、正木孝幸 E-mail ryo@oita-u.ac.jp 内線 5051															
授業の概要	本科目は、人間の生命活動に関する知識体系の総論と位置付けた解剖学の知識を基盤とし、人間の生命活動に関する知識体系の各論として、さらに解剖体の見学実習を実施しながら学修を深める。本科目の受講を通して、臨床推論に必要な基礎的知識の修得に加え、生命の尊厳についての考えを深めるとともに、医療を学問的に探究していくための礎を築くこともねらいとしている。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	外界や体内からの情報を中枢が処理し、指令を発することでコントロールされる生命活動の仕組みについて理解できる															
目標2	生命活動に必要な酸素を体内に取り込むための生活行動である「息をする」仕組みについて説明できる															
目標3	生命活動に必要な栄養素を体内に取り込むための生活行動である「食べる」仕組みについて説明できる															
目標4	生命活動で産生され、体内で不要になったものを体外へ廃棄するための生活行動である「排泄する」仕組みについて説明できる															
目標5	生活行動である「動く・支える」ために必要なからだを支える骨格とそれを動かす筋肉の仕組みについて説明できる															
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							6		2					2		
授業の内容																
1	中枢神経系の解剖生理学															
2	中枢神経系の解剖生理学															
3	筋骨格系・末梢神経の解剖生理学															
4	筋骨格系・末梢神経の解剖生理学															
5	心血管系の解剖生理学															
6	心血管系の解剖生理学															
7	消化器系の解剖生理学															
8	消化器系の解剖生理学															
9	消化器系の解剖生理学															
10	消化器系の解剖生理学															
11	内分泌系の解剖生理学															
12	内分泌系の解剖生理学															
13	腎泌尿器系の解剖生理学															
14	感覚器・生殖器系の解剖生理学															
15	人体解剖実習見学：集中講義として実施予定(4コマ)															
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
ラーニング	A:知識の定着・確認	日々の課題学修、解剖実習見学					工夫その他の	LMS、動画 *Moodleを活用								
	B:意見の表現・交換	Medical Focusを用いた知識の医療への応用、課題レポート														
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															

授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	配布授業資料・教科書の確認、日々の課題の調べ学修（毎回1h、計15h）										
	事後学修	授業内容を整理しポートフォリオとしてまとめる（毎回1h：計15h）										
	想定時間合計	30										
教科書	「系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第12版」（2026）坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀（著）、医学書院 ISBN：978-4-260-06184-1 「カラー人体解剖学—構造と機能：ミクロからマクロまで」（2012）、Martini,F. et al.（著）、井上貴央（監訳）、西村書店 ISBN:978-4-89013-305-5											
参考書	開講時に適宜提示											
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	学期末試験	100%										
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ Moodleに一括配信した講義資料・教科書を用いて必ず予習し、主体的・積極的に授業に臨むことを期待する。 ・ 人体解剖見学実習（予定）には必ず参加すること。*状況によって時期を検討する。 											
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目の受講を通して、生命の尊厳についての考えを深めていくことも期待している。 ・ 看護学科、先進医療科学科と合同開講とする 											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無	有無											
教員の 実務 経験	先進医療科学科と看護学科の医系教員：臨床実績のある医師											
実務経験を いかした教 育内容	ヒトのからだの構造と機能に関する知識を具体的に解説する。											